

函館運送支部が賃金交渉妥結 本採用は4,000円の賃上げなど前進

函館運送支部は3月6日に要求書を提出し、4月10日に第1回団交、4月12日に第2回団交をおこなって4月14日に賃金交渉について妥結しました。賃上げは、本採用・4,000円（基本給1,050円＋第二基本給2,950円／昨年2,100円）、58歳到達者・2,400円（基本給630円＋第二基本給1,770円／昨年1,260円）、東京嘱託・基本給3,200円（昨年1,680円）、臨時従業員・基本給3,200円（昨年1,680円）で、昨年は前年比で本採用が2,400円下がった賃上げ額を取り返して大きく前進しました。また、独身者の住宅手当が引き上げられました。なお、夏季手当については6月中旬以降に交渉することになります。

千歳で4年ぶりに「健康相談会」

4月9日に千歳市で「健康相談会」を開きました。2020年から新型コロナの影響で開けられなかったが、今年は札幌労災支部が担当して4年ぶりの開催となりました。2019年までは北星病院を会場にしていたが、今回は市内の公共施設でおこない、当日は北星病院の後援をいただきスタッフにも参加してもらいました。この日会場には2人の相談者が来て、振動障害・じん肺・騒音性難聴の相談4件を受けました。

函館支部が公共事業の現場調査

函館支部は毎年、函館市と道庁発注工事の現場調査をおこなっています。昨年度は11月から2月まで、函館市発注工事9現場と道庁発注工事3現場で67人（市の現場44人・道の現場23人）の労働者からアンケートを回収しました。このうち22人は名前と住所を記入してくれました。回答の特徴は以下のとおりです。

■建設業の経験年数 30年以上が13人と一番多く、25～30年と5～10年がそれぞれ9人などで、5年未満が11人でした。

■就労形態は、通年雇用が50人、一人親方が3人、季節雇用が2人でした。

■元請けの労働者は11人、1次下請けが39人、2次以下の下請けが7人でした。

■賃金は、職種別で市の工事では普通作業員の月額平均が9,540円と設計労務単価（18,000円）の53%、配管工が9,400円で設計労務単価（22,000円）の42.7%、警備が8,000円で設計労務単価（交通誘導員A15,200円）の52.6%などで、道の工事でも普通作業員が9,800円（設計労務単価の54.4%）、警備が8,270円（同54.4%）など、各職種とも設計労務単価の50%前後です。10年連続で現場調査をしていますが、設計労務単価が毎年上がっているにもかかわらず、労働者の賃金はほぼ変わらない水準でした。

■休日は「毎週日曜日」が39人（58%）で「4週5休」「4週6休」は21人（31%）です。

■有給休暇を取ったのは28人（42%）で、20人（30%）は取っておらず、「年間5日」が義務化されましたがまったく進んでいない状況であることがわかりました。

函館支部では10年間の変化をふくめて、建退共や年金、健康保険などについてもさらに分析をすすめることにしています。